
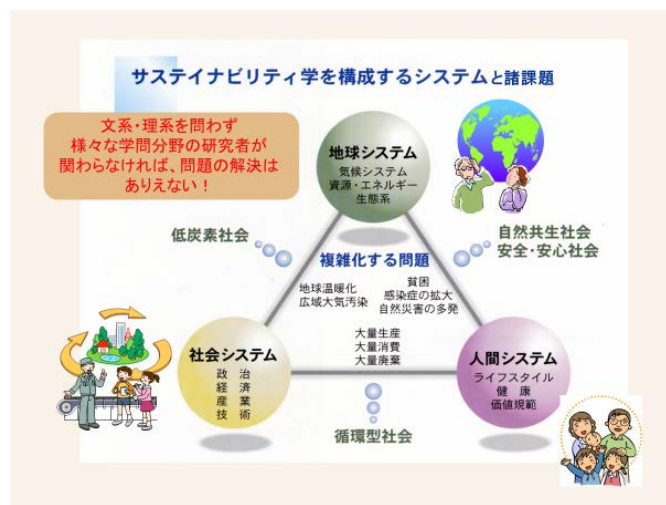


整理番号	HT29055	分野	自然・社会	キーワード	サステナビリティ学
------	---------	----	-------	-------	-----------

研究機関名	茨城大学地球変動適応科学研究機関(ICAS)				
プログラム名	温暖化する地球環境に私たちはどう適応できるのか？ サステナビリティ学への招待				
先生(代表者)	伊藤哲司(いとうてつじ) ICAS 機関長／人文社会科学部教授				
自己紹介	専門は社会心理学で、主にベトナムをフィールドとした研究をしてきました。近年は、被災地のフィールドもよく歩いています。学内の60人以上の多様な教員(研究者)が集うこの研究機関のまとめ役を務めています。高校生のみなさんとこの機会に出会えることを楽しみにしています。				
開催日時・募集対象	平成29年8月10日(木)	受講対象者	高校生	募集人数	
集合場所・時間	茨城大学水戸キャンパス図書館		(集合時間)	9時30分	
開催会場	住所: 〒310-8512 茨城県水戸市文京 2-1-1 アクセスマップ URL: http://www.ibaraki.ac.jp/generalinfo/campus/mito/access/				

内 容

地球温暖化が進行しつつあります。気温が少しぐらい上がっても、大した問題ではないと思っはいてはいないでしょうか。地球環境の変化は、気候や生態系などへの影響をもたらすのみならず、社会の変動をも引き起こし、私たちの生活にも大きな影響を及ぼしてきます。そしてそのような変化は、もはや完全に止めることはできません。極端な気象現象や災害も顕著にみられるようになってきたなか、少しでも悪影響を小さくするために、私たちは何ができるのでしょうか。また、そうした温暖化する地球環境と社会の変動に、私たちはどのように適応していけばよいのでしょうか。そうした問題への対応に総合的に取り組むのが、21世紀に入って始まったサステナビリティ学です。さまざまな分野の研究者が文系・理系を越え関わっているその探究の世界に、みなさんを招待します。一緒に私たちの近未来を真剣に考えてみましょう。



スケジュール		持ち物
9:30~10:00	受付(図書館入り口)、ライブラリーホール(3F)へ移動	筆記用具
10:00~11:30	基調講義+パネルディスカッション	調べものができるもの

<p>「地球温暖化とはどのような問題か？」 数人の専門家による講義と討論(途中休憩あり) 11:30～12:45 ランチタイム(お弁当あり) 12:45～13:00 図書館ラーニングコモンズ(1F)へ移動 13:00～15:00 ワールドカフェ 「温暖化する地球環境に私たちはどう適応できるのか？」 自分たちにできる方策をワールドカフェの手法を用いてディスカッション し、グループごとに具体的な行動プランを作成・発表する 大学生がグループリーダーを務める(途中休憩あり) 15:00～15:30 修了式「未来博士号」を受講生全員に授与 参加者アンケートを実施 15:30～16:00 クッキータイム(参加者交流会) 16:00 終了・解散</p>	<p>(パソコン、電子辞書、スマホ等。なくても可)</p> <p style="text-align: center;">特記事項</p> <p>受講する高校生にはお弁当を用意します(付き添いの方の分はありません)。お問い合わせ・お申込みはできるかぎりメールでお願いします。お名前・性別・高校名・学年・電話番号をご記入ください。複数人をまとめて申し込んでいただいても構いません。</p>
---	--

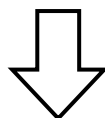
《お問合せ・お申込先》

所属・氏名：	茨城大学地球変動適応科学研究機関(ICAS)／伊藤哲司
住所：	〒310-8512 水戸市文京 2-1-1
TEL 番号：	029-228-8110, 029-228-8787
FAX 番号：	029-228-8584
E-mail：	icas(at)ml.ibaraki.ac.jp(「(at)」は「@」にしてください)
申込締切日：	平成29年7月31日(月)

※当プログラムは先着順にて受付を行います。

《プログラムと関係する先生(代表者)の科研費》

研究代表者	研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名
伊藤哲司	H25~27	挑戦的萌芽研究	25590156	ポスト震災社会を生きる人々の共同性と縁に関する社会心理学研究の試み



★この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<http://kaken.nii.ac.jp/>

※国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。